

# 公益法人－仕訳と作表

1. (公益認定・認可を通過しても) これはスタート・ラインです。

これからサキもロード・レースが続きます。

私の経験では、認定・認可を通過したから、すべて20年基準だけの会計処理が組織として妥当な法人は極めて少ないと思われま  
す。

2. (責任の所存や指令塔が) 公益問題の事業区分通りにはいかない

からです。したがって、やはり16年基準が必要です。

考え方の中止を16年基準において、これに20年基準を織り込  
む(16年基準を自動的に20年基準に置き換える)方式が最も  
効率的です。

3. (TKCの公益法人・FXIV システム) は、上記の課題を解決

します。ここでは、16年基準の会計処理を示します。

16年基準が出来れば20年基準はカンタンですヨ。

## 設問 1

TKC研究所の経理部に属するあなたは、上司より資料1と2を手渡され、自平成20年4月1日至平成21年3月31日の財務諸表を作成するように命じられた。

資料1：平成20年3月31日現在の残高試算表（記入済み）

資料2：平成20年4月から21年3月の全取引が、これだけあったとして次の精算表を完成させよ。（但し、期末整理仕訳をする以前の段階です）

この次の段階では期末整理仕訳をつけ加えて考えてみましょう。

（資料1）

平成20年3月31日の残高試算表を精算表の左端に示した。

（資料2）

1. 期首に指定正味財産に区分される寄附によって受け入れた基本財産として、国債50口〔額面：1口100円、(5,000円)、時価1口101円(5,050円)〕を受領した。
2. 正会員より年会費として、現金9,500円と前期の未収計上額1,000円を現金で受け入れた。
3. 公益・講習事業用（公1と略する）建物購入のため、銀行から現金で45,000円の長期借入れを受けた。

4. ③の建物を購入し、現金 60,000 円を支払った。なお、この建物は。上記③の長期借入れの担保に供している。
5. 経産省より、公益・研究事業用（公2とする）の機械装置購入に充当するための補助金 6,000 円を受け、これに自己資金 6,000 円を加えて、12,000 円の機械装置を購入した。
6. 講習事業費（公1）として、助成金 2,000 円および旅費交通費 300 円を現金で支払った。
7. 本部（公1と公2の）事業費として、給料手当 3,000 円（源泉所得税等の預かり金 250 円控除前）、退職給付の支払 350 円（全額退職給付引当預金を取り崩す）と共通事業費としての旅費交通費 1,000 円を支払った。なお預り金 250 円のうち 230 円は現金で税務署へ納税した。
8. 国債の利息 2,100 円を一般現金で受領した。このうち 2,000 円は、従来から基本財産として保有している国債 1,000 口に対するものであり、残りの 100 円は上記①で受け入れた国債に係るものである。
9. 銀行に短期借入金の元本 1,500 円および長期借入金の元本（1年以内返済長期借入金）1,000 円の返済を行うとともに、新たに 500 円の借入を行った（返済期限は 21 年 5 月 31 日）。支払利息 300 円を預金から支払った。
10. 経産省からの国庫補助金により取得した指定正味財産たる建物が期首に火災により焼失した。この建物の焼失時の取得価額は 10,000 円、減価償却累計額 5,000 円で、これに対応する指定正味財産に計上されていた国庫補助金の残高は 3,000 円であった。
11. 決算での減価償却費相当額として 2,310 円を一般預金から目的預金に降り込みした。

〔設問1〕 期中取引の仕訳

(注) 消費税はTKCコードで、科目の後に記入して下さい。税込処理します。  
 消費税・課税仕入対応 95、非課税仕入対応・96、非目的 99

設問	消費	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	1	96 (基本)投資有価証券	5,050	(指定)有価証券受贈益	5,050
2	1	99 現預金	9,500	正会員収入	9,500
	2	0 現預金	1,000	未収会費	1,000

〔設問1〕 期中取引の仕訳

(注) 消費税はTKCコードで、科目の後に記入して下さい。税込処理します。

消費税・課税仕入対応 95、非課税仕入対応・96、非目的 99

設問	消費	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	1	96 (基本)投資有価証券	5,050	(指定)有価証券受贈益	5,050
2	1	99 現 預 金	9,500	正 会 員 収 入	9,500
	2	0 現 預 金	1,000	未 収 会 費	1,000
3		0 現 預 金	45,000	長 期 借 入 金	45,000
4		7 (公1)建物	60,000	現 預 金	60,000
5	1	95 現 預 金	6,000	(指)国庫補助金	6,000
	2	5 (公2)機械	12,000	現 預 金	12,000
6	1	0 (公1)支払助成金	2,000	現 預 金	2,000
	2	5 (公1)旅費交通費	300	現 預 金	300
7	1	0 (管)給料手当	3,000	預 り 金	250
	2	0 (管)旅費交通費	1,000	現 預 金	3,750
	3	0 退 職 引 当 金	350	退 職 引 当 預 金	350
	4	0 預 り 金	230	現 預 金	230
8	1	3 現 預 金	2,100	(指定)基本受取利息	2,100
	2	0 指定から一般へ振替	2,100	(一般)基本受取利息	2,100
9	1	0 短 期 借 入 金	1,500	現 預 金	1,500
	2	0 1年以内返済長期	1,000	現 預 金	1,000
	3	8 (管)支払利息	300	現 預 金	300
	4	0 現 預 金	500	短 期 借 入 金	500
10	1	0 建 物 償 却 累 計 額	5,000	(基本)建物	1,000
		0 建 物 火 災 損 失	5,000		
	2	0 指定から一般へ振替	3,000	(-)受取国庫補助金	3,000
11		0 減 価 引 当 預 金	2,310	現 預 金	2,310
		合 計	168,240		168,240